

分野別フォローアップのまとめ

1 分野別フォローアップの実施

「ひろしま未来チャレンジビジョン」の見直しの参考とするため、全4分野21領域について、社会情勢等の変化や主な成果、実績を踏まえ、課題等について審議した。

○ 実施状況

開催日等	審議対象分野（領域）
H26. 9. 11 総合計画審議会 第2回小委員会	「人づくり」分野 (教育, 多様な主体の社会参画, 人が集まり定着する環境整備)
	「豊かな地域づくり」分野〔一部〕 (県民主役型地域社会)
H26. 10. 6 総合計画審議会 第3回小委員会	「安心な暮らしづくり」分野 (医療, 健康, 福祉・介護, 子育て, 環境, 防災・防疫, 消費生活, 治安)
	「新たな経済成長」分野〔一部〕 (新たな産業・基幹産業, 産業人材・就労)
H26. 10. 22 総合計画審議会 第4回小委員会	「新たな経済成長」分野〔一部〕 (農林水産業, 観光, 交流・連携基盤)
	「豊かな地域づくり」分野〔一部〕 (地域資源活用・地域情報化, 都市地域, 中山間地域, 平和貢献)

2 主な意見項目

分野	主な意見項目
人づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○地域への愛着と誇りを持った人材の育成 ○グローバル人材の育成 ○出産・子育て・女性の活躍促進 ○定住促進 ○広島県教育の魅力向上 ○幼児教育の充実 ○県内大学の地域連携 ○多様な主体の社会参画 ○若者の転出超過対策 ○高度で多彩な人材の育成・確保
新たな経済成長	<ul style="list-style-type: none"> ○イノベーションの促進 ○自立可能な農林水産業の実現 ○港湾施設の機能強化 ○県内大学の地域貢献 ○地域に根差した産業の人材確保 ○観光の振興 ○ゲートウェイ機能の強化
安心な暮らしづくり	<ul style="list-style-type: none"> ○医療の提供体制と適正な受診行動 ○持続可能な医療・福祉・介護体制 ○福祉施設の有効活用 ○再生可能エネルギー社会の構築 ○災害に強いまちづくり ○危機管理体制の構築 ○性犯罪被害等の防止と被害者支援 ○出産・子育て・女性の活躍促進 ○県民総ぐるみの健康づくり ○障害者の自立支援 ○地域環境の保全 ○コンパクトシティーの推進 ○高齢者の詐欺被害の防止
豊かな地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○戦略的な地域の魅力づくり ○コンパクトシティーの推進 ○地域特性を生かした魅力あるまちづくり ○国際平和拠点の実現 ○空き家対策 ○中枢拠点性機能等の方向性 ○人口減少対策

3 今後の進め方

分野別フォローアップでの意見を踏まえ、「ひろしま未来チャレンジビジョン」の見直しにおける「中間まとめ」を作成する。(事務局において素案を作成し、小委員会において審議する。)

分野別フォローアップ

～ビジョン見直しに考慮すべき事項～

人づくり

01 教育

- ・地域への愛着と誇りを持った人材の育成
- ・幼児教育の充実
- ・グローバル人材の育成
- ・県内大学の地域連携

主な意見

- 保育園・幼稚園から生涯学習にわたりそれぞれの市町のことをカリキュラムとして学ぶ「ふるさと学」は、自分の街に誇りを持つ人の数が増え、県外に出ても戻ってこようという意識が働きやすくなると思う。
- 県内には豊かな歴史があり遺跡もある。子どもたちに、広島奥の深さを感じ、郷土への愛着を持ち育ってもらおう。郷土の歴史を教えることが必要ではないか。
- グローバルな人材は、相手を尊重することができ、自分と異なるものを排除しないという多様性を共有する力と、ビジネスの現場でグローバルに活躍できるための力の異なる能力が必要。
- 地域に根付いて地域のために地域を支える人材の育成は重要。地元の県立大学等がそういった人材を育成することが必要ではないか。また、学生自身が、自分たちの学びが、どこかで地域社会との接点があると感じさせることで意義を感じるといった良い循環を生み出すことが必要ではないか。

02 多様な主体の社会参画，17 県民主役型地域社会（豊かな地域づくり）

- ・出産・子育て・女性の活躍促進
- ・多様な主体の社会参画

主な意見

- 女性の管理職登用の数値目標の設定や、時間外労働ゼロ、待機児童ゼロ、利用時間の長い学童保育などワークライフバランスの促進が実現できない限り、親の悩みは解消されないと思う。
- 女性が働き続けられる社会になっておらず、性別役割分担意識が非常に根強く残っている現状がある。アフターマティバアクションをするぐらい一歩踏み込んで見直すべき。
- 男女・年齢を問わず、働く環境や、それをサポートする保育・子育て環境を作ることを強調できないか。

03 人が集まり定着する環境整備

- ・定住促進
- ・若者の転出超過対策
- ・広島県教育の魅力向上
- ・高度で多彩な人材の育成・確保（グローバル人材、海外人材など）

主な意見

- ユニークな、就職したい企業を集積するという取組も考えられるのではないか。若者達が就職したいと思える企業とか、優秀な人材が起業しやすい環境をつくるといった視点があっても良いと思う。
- 社会に出ていく学生に対し、広島がある程度の都市機能を有し、将来、結婚し、子どもを産み育てる生活環境などトータルで見てバランスのとれた生活ができることをPRすべき。
- 世界的に見ても、広島はオリジナルを持っている。例えば、国際平和など広島にしかないコンセプトを核に、リソースを集中させることで、それを研究する優秀な人材などを吸引できると思う。
- 留学生や海外観光客と地域の方が交流し、広島に滞在する中で刺激を受ける場が創れば良いと思う。
- 大学間の交流により、互いに切磋琢磨し魅力を高める場が必要。関西の大学では、ある部分では手をつなぎながらも、互いが競い合うことで、全体的な力を高めている。

新たな経済成長

04 新たな産業・基幹産業，07 産業人材・就労

・イノベーションの促進 ・地域に根差した産業の人材確保 ・県内大学の地域貢献

主な意見

- これまでのものを先鋭化するだけでは新しいものが生まれない。新しいものを生み出すにはこれまでにないものを入れて、揺らしながら、また新しいものを入れる必要がある。基本はものづくりだとしても、別のものの見方を入れる必要がある。
- ものづくりは重要だが、サービス業も含めた仕組みづくりが重要である。イノベーションは、ものづくりだけではなく、小売業も住宅、介護、医療もすべてそうなので、県立大学にMBAもできるし、地域の大学としても連携して、人づくり、仕組みづくりによって新しいイノベーションを生み出す必要がある。
- グローバル人材は重要だが、すべての企業がグローバル人材を必要としているわけではない。介護や医療、住宅など、ほとんどは地域に根差した産業である。そこではいかに安定して人材を確保し、人材の質を高め、社員がプライドを持ってやっていけるか、そのための仕組みづくりも重要である。

05 農林水産業

・自立可能な農林水産業の実現

主な意見

- 県内には伸ばしていける品目はいろいろあり、それを伸ばすことで、都市部からの中山間地域への人材の定着も進むと思う。自立した産業として成り立つ農業の仕組みを作る必要がある。
- 新たに農業を始める場合などに、農地が分散してしまい、大規模にまとまった農地を確保できない状況がある一方で、荒れた耕作放棄地などもあり、農地が流動化する仕組みが必要だと思う。
- 農業を農林水産業者だけではなく、外の視点から農林水産業を活性化する取組も必要だと思う。
- 農林水産業で働ける、食べていけるという情報の提供は、若い人の県外への流出も防止にもつながる。
- 林業は生産者や販売者の視点が強く、県産材を使うメリットなど消費者視点が不足していると思う。
- 「長く住むならこの木」というようなイメージ戦略も必要ではないか。

06 観光

・観光の振興

主な意見

- 歴史的建造物、例えば厳島神社や護国神社、広島城を使った国際会議などを誘致してはどうか。
- 観光・おもてなしというよりは、県としてどういうポリシーで誰に対して、どのような形で来てもらい、県民の幸せや誇りにつながり、来た人にとって価値を生むといったことが計画の中に盛り込めると良い。
- 中山間地域と観光がいつも離れているように思う。中山間地域について、地元の人が、わが町、わが村を見直して、良さを再認識するという視点もあって良いと思う。
- 地産地消だけでなく、商売、工業、宿泊なども含めて産業関連の仕組みも併せて検討する必要がある。
- 外国の田舎の人でも、広島という地名を知っている。うまく呼び込む仕組みが必要だと思う。また、平和で人が来るならそこでビジネスを作らないといけない。広島に行くとか平和のヒントが得られるということになれば多くの人が来ると思うが、コンテンツはスポットでしかなく、周りとの連動が必要。

08 交流・連携基盤

- ・港湾施設の機能強化
- ・ゲートウェイ機能の強化
- ・県内大学の地域貢献

主な意見

- 競合する他県の港湾もそれぞれが強化を図っている中で、同じ土俵で戦っていくのは難しいと思う。費用対効果を考えターゲットをはっきりさせる必要がある。
- 企業誘致や国際会議の誘致など、空港までのアクセスに対するイメージが悪く、それが心のバリアになっているのではないかと思う。広島空港に着いたら驚くような仕掛けなど工夫が必要だと思う。
- 広島大学がスーパーグローバル大学に採択されて、外国人留学生が3倍増えるといった状況で、交流や産業、広島への定住も考えられるので、広島大学に限らず、県内大学と広島県との情報交換など、連携が必要。

安心な暮らしづくり

09 医療, 10 健康, 11 福祉・介護

- ・医療の提供体制と適正な受診行動
- ・出産・子育て・女性の活躍促進
- ・持続可能な医療・福祉・介護体制
- ・県民総ぐるみの健康づくり
- ・福祉施設の有効活用
- ・障害者の自立支援

主な意見

- 医療へのアクセスは他県と比較して非常に良い。逆に医療費が高い面もあるが、それを悪く捉えるのではなく、多面的に捉え、病状が悪くなる前に未然に防ぐことができていることはアピールの柱にもなる。
- 女性医師の就業状況はM字カーブではなく「への字」になる。短時間正規雇用など女性医師が働き続けやすい環境づくりが必要。実家が近いことなどは動機付けにもなり、県外から呼び戻すポイントになり得る。
- 医療保険制度等により、受益と負担が不一致なため、安易に病院にかかってしまいがちという側面もある。今後国保財政等も厳しくなるので、市町が医療費等の情報を明示し、県はバックアップする仕組みが重要。
- 医療・介護・保健総合分析システムなどの先進的な取組を、県民へもっとアピールすべきである。分析システムを使って、市町や生活圏域ごとにデータを公表して競うなど、トップランナーに前面に立ってもらい、仲間と一緒にみんなが競争しながら健康を目指すなど、見える形の県民総ぐるみでの推進が重要である。
- 福祉施設の用途は、保育所や高齢者施設や障害者施設などを大きなくくりで、柔軟に運用したほうが、限定するより人口動態の変化に対応できるのではないか。
- 障害者支援や見守りサービスから外れる軽度の障害を持つ方が、ご両親が高齢になると、社会から孤立してしまう。取組により雇用率が高まっている自治体の例も参考に支援の在り方を検討する必要がある。

12 子育て

- ・出産・子育て・女性の活躍促進

主な意見

- 今の働き方は、仕事だけで一杯で、結婚して子供も産むことができない悪循環に陥っている。出産後も働きやすく、働き甲斐のある仕事に就け、キャリア形成も登用もできる道筋をつくっていく必要がある。
- 女性の雇用やイクメンのフロントランナー企業を幾つか検証し、それを目指していくことを応援することは県として可能だと思う。
- 中山間では子どもの減少に伴い、保育所の統合や民営化が進み、遠い保育所への送り迎えに時間がかかるなど不便な状況がある。都市部に引っ越す若い家庭もあるため、県北の保育についても検討が必要だと思う。

13 環境

・再生可能エネルギー社会の構築 ・地域環境の保全

主な意見

- 一番大きい情勢の変化は、マネー資本主義から里山資本主義というパラダイムの転換である。農業や産業、中山間地域の山の保全など広範囲に関わってくるテーマである。
- 再生可能エネルギーへの転換の流れはあるが、具体的な行動を選ぶのが難しい。トライ・アンド・エラーとして、色々なことにチャレンジする期間を取り、その先で、県の具体的な方針を決めていくのが良いと思う。
- 環境の中には、自然景観、都市景観というものもあり、地域によっては非常に力を入れている。こういった点も環境の中な重要なファクターである。

14 防災・防疫

・災害に強いまちづくり ・コンパクトシティの推進 ・危機管理体制の構築

主な意見

- 無秩序に宅地開発を行うことは、止めないといけない。人口が減る中で、街が大きくなることは、災害でのマイナス面が大きくなると思う。場所によってはあまり住まないようする緩やかな規制があっても良い。
- より安全な所へ徐々に移り住むという方法を更に取りたくないといけない。どんどん砂防ダムを作るというのも一つだが、防災ダムにコストをかけるのか、より安全な所に移り住んでもらうのかというのは、そこに住んでいる人のことも含めて議論した上で考えないといけない。危機管理的な側面と、非常に時間をかけてゆっくり災害に強いまちづくりにしていくという双方の視点がある。
- 大型の空き店舗など古い建物が耐震基準を満たさず、利活用できていない状況がある。もちろん安全は大事であるが、例えば、もう少し規制を緩和することができれば、中心市街地活性化の推進が図られると思う。
- 災害発生時に実際の危機管理にあたるのは市町であることから、情報をいち早く得て、迅速に判断、行動できるよう基盤整備が重要だが、折角の情報を活用できていない側面がある。また、気象台の提供データのバージョンアップの更新スピードに市町が間に合わず、また人材確保も難しいことから、県がソフトウェアの基盤整備まで踏み込んで支援し、共通のもので定期的な訓練を行うことが必要である。

15 消費生活, 16 治安

・高齢者の詐欺被害の防止 ・性犯罪被害等の防止と被害者支援

主な意見

- 高齢者を狙った巧妙な手口の特殊詐欺に関して、その手口等の情報をきちんと高齢者に伝えるような方法を取るなど、阻止する手立てが必要。
- 性犯罪が増えているが、被害者本人はそのことをなかなか言えない。被害者支援は心のケアを含め、適切な対応が必要であり、ワンストップのセンターがあれば良いと思う。県民意識を変える効果もあると思う。
- 性的なトラブルについては、インターネット等で、色々な情報を刷り込みされているように思える。情報入手を抑えることができない以上は、こうしたことを判断できるように、早い段階からの教育が必要。

豊かな地域づくり

18 地域資源活用・地域情報化

・戦略的な地域の魅力づくり

主な意見

- ある都市では、都市ランキングで、成績が良くない結果は語らず、成績の良い結果だけを前面に出して、そのランキングを上昇させる取組が行われている。それは一つの切り口で、ある部分でプラス面がある。

19 都市地域，20 中山間地域

・空き家対策 ・コンパクトシティの推進 ・中枢拠点性機能等の方向性 ・地域特性を生かした魅力あるまちづくり ・人口減少対策

主な意見

- まちづくりのためにも、空き家を手放そうという意志がない方への働きかけが必要だと思う。
- 「コンパクトで利便性の高いまちづくり」を進める上で、どういう手段を取るのか、例えば、機能、ネットワーク、土地利用という点がもう少し詳しく書いてあれば、市町も動きやすくなると思う。
- 中枢拠点性機能の強化の方向性、県土全体における各都市の位置付けと各都市の結び付き、そして各市町へのメッセージとなるものがあれば、分かりやすくなると思う。
- 個々の市町が地域の特性を発揮して、それをバランスよくコーディネートする視点が必要。
- 人口維持あるいは他の場所からの移住促進に向けては、どのような都市、街の位置付けにするのかということを示す必要がある。また、地域ごとに状況が異なるので、県が全体像を示し、地域ごとの役割分担まで言及して、それぞれが役割を果たすことが重要。
- 人口減少の流れを止める努力も必要であるが、人口減少が避けられないのであれば、減った時に痛みが最小限になるような、スマートシュリンクをイメージしたシナリオも必要となるのではないかな。
- 全部で何万人に減るからといって、地域が右往左往するよりは、どこの世帯の息子が一人残れば、この地域は守れるのかといったことを冷静に考える人が必要だと思う。

21 平和貢献

・国際平和拠点の実現

主な意見

- 国際平和拠点を目指すなら、あらゆる資料等が手に入る環境整備が必要。また、外国から来た人が平和を学ぼうとした際に、いろんな世代の人が学ぶ場があると、滞在し宿泊客も増え、地元の人との交流もできる。
- 市町ごとにいろいろな取組が行われているが、計画にはもう少し広い視点で県としてのポリシーを書き込めば、細かくせずとも、県としての役割がクリアに伝わるのではないかな。